令和6（2024）年度

事 業 計 画 書

公益財団法人 群馬県長寿社会づくり財団

令和６年度 事業体系

目標		柱	事業名
高齢者が活躍できる社会づくり	公益目的事業１	1 明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』	(1) ぐんまときめきフェスティバル開催 (2) 情報誌「ときめき群馬」発行 (3) 財団情報提供事業
		2 市町村等との連携による『人づくり』	(1) シニア傾聴ボランティア育成支援事業 (2) 元気・活躍シニア社会参加活動支援事業 (3) 元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業
		3 地域活動促進のための『組織づくり』	(1) 全国健康福祉祭選手派遣事業（ねんりんピック鳥取） (2) ぐんまねんりんピック２０２４開催
		4 調査研究	(1) 生きがいと健康づくり調査研究事業
	公益目的事業２	5 多様な雇用・就業機会の確保	(1) シルバー人材センター連合会の運営 (2) 高齢者活躍人材確保育成事業

１　明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』

（１）　**ぐんまときめきフェスティバル開催**　〔予算額　３，４４１千円〕

シニア世代の社会参加と生きがいづくりを推進するため美術展、短歌大会を開催し、日頃の創作活動の成果を発表する機会を設けるとともに、高齢社会をともに考える機会とするための講演会を実施します。

なお、美術展は全国健康福祉祭美術展の本県代表作品選考会を兼ねています。

ア　開催日　３／２０（木・祝）～２２（土）　３日間

イ　会　場　昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）・群馬県社会福祉総合センター

ウ　内　容

（ア）　ときめき美術展（日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真）

（イ）　ときめき短歌大会

（ウ）　ときめき講演会

（エ）　参加者数　１，０００人

（２）　**情報誌「ときめき群馬」発行**　〔予算額　１，７３８千円〕

シニア世代の生きがいづくり、健康づくり及び社会参加に関する情報や、個人、団体及び財団の事業内容を紹介した情報誌を作成し、市町村等関係機関などに配布することにより、明るく活力のある長寿社会の実現に向けて意識啓発を図ります。

ア　配布部数　各号１２，０００部（年２回）

イ　配布先　　県、市町村、公民館等

（３）　**財団情報提供事業**　〔予算額　３８０千円〕

ホームページやＳＮＳを多用しながら、従来のＰＲ用パンフレットと併せ市町村や県民へ当財団の事業内容を適時提供します。

ア　内　容

（ア）　ＰＲ用パンフレット「事業案内ときめき」作成　１０，０００部

（イ）　ホームページ更新　当財団の概要及び事業等の情報

（ウ）　X･LINE および YouTube アカウントの運営　新着情報、募集情報、事業内容の配信

（エ）　市町村等関係団体との事業連携についてアンケートの実施

ａ　内容　　当財団事業の協働実施について

ｂ　送付先　市町村、市町村社協、シルバー人材センター

２　市町村等との連携による『人づくり』

（１）　**シニア傾聴ボランティア育成支援事業**　〔予算額　４５２千円〕

悩みを持つ人の話し相手となり、自分自身で悩みを克服できるよう手助けを行う傾聴ボランティア活動を支援するため、養成講座を行います。

ア　養成講座

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所、定員

ａ　渋川会場（渋川市社会福祉協議会）　７／１(月)・８(月)、渋川市子持福祉会館

ｂ　太田会場（太田市社会福祉協議会）　１１／１１(月)・１８(月)、太田市福祉会館

（イ）　定員　各３０名

（２）　元気・活躍シニア社会参加活動支援事業　〔予算額　１，０９７千円〕

仕事中心の生活から地域中心の生活に移行するシニア層が、退職後も健康で社会とのつながりを維持できるように、シニアが興味・関心を持ち、仲間づくりや社会参加に役立つ講座を開催します。

また、シニアグループの情報提供やマッチングを行い社会参加活動を支援します。

ア　美味しいコーヒーの淹れ方講座

退職後の男性を地域に呼び込むための１つのきっかけとして美味しいコーヒーの淹れ方を学び、コーヒーをきっかけに地域の繋がりや交流の輪をひろげることを目的とし、居場所づくりを支援します。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

a　太田会場（太田市シルバー人材センター）、７／１８（木）・２５（木）、太田市新田福祉総合センター

b　富岡会場（富岡市シルバー人材センター）、１２／５（木）・１２（木）、富岡市生涯学習センター

（イ）　定員　２０名

イ　アクティブシニアのためのＳＮＳ活用講座

シニア世代が仲間づくりや地域とのつながりの新たな手法として SNS を活用し、社会参加活動へと結びつくように、SNS の仕組み及び利用方法を習得します。

（ア）　１日コース　会場名（連携先）、開催日、場所

a　館林会場（館林市シルバー人材センター）、９／２（月）、館林市保健福祉センター

b　千代田会場（千代田町社会福祉協議会）、８／２９（木）、千代田町総合保健福祉センター

（イ）　３日コース　会場名（連携先）、開催日、場所

a　高崎会場（高崎市社会福祉協議会）、８／２０（火）・２１（水）・２２（木）、高崎市総合福祉センター

（ウ）　定員　２０名

ウ　シニアのｅスポーツ講座

指先を使うことで認知症予防にも期待できる“ｅスポーツ”を通じ、健康寿命の延伸に役立てます。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

a　前橋会場(群馬県老人クラブ連合会)、９／２０（金）、群馬県社会福祉総合センター

b　神流会場（神流町社会福祉協議会）、７／３１（水）、神流町保健福祉センター

c　板倉会場（板倉町）、１１／２８（木）、板倉町中央公民館

d　邑楽会場（邑楽町）、５／１４（火）、邑楽町役場

（イ）　定員　１５名、前橋会場は５０名

（ウ）　その他　参加者は関係者となります。

エ　アクティブライフ講座

人生１００年時代を生涯にわたり自分らしく健康でいきいきとした生活を送るため、必要な知識・技術を学び、自身の健康寿命の延伸に役立てるとともに、講座で得た知識を地域活動に還元し、介護予防推進のボランティア活動の中での実践を促します。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所、定員

a　前橋会場（群馬県老人クラブ連合会）、7／5(金)、群馬県社会福祉総合センター、２８０名

b　伊勢崎会場　(伊勢崎市社会福祉協議会)、９／２７（金）・３０（月）、伊勢崎市絣の郷、３０名

c　沼田会場（沼田市）、９／２５（水）・２６（木）、沼田市保健福祉センター、５０名

（イ）　その他　前橋会場と沼田会場の参加者は関係者となります。

オ　足の健康講座（新規）

筋力低下や転倒リスクを防ぐため、足の手入れの重要性について実践を通じて学び、健康寿命の延伸やフレイル予防に役立てます。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

a　伊勢崎会場（伊勢崎市社会福祉協議会）、７／４（木）・１１（木）、伊勢崎市絣の郷

b　みなかみ会場（みなかみ町社会福祉協議会）、１１／２９（金）・１２／６（金）、みなかみ町保健福祉センター

c　板倉会場（板倉町）、５／２３（木）・３０（木）、板倉町中央公民館

（イ）　定員　３０名

カ　シニアグループの登録

活動支援、情報提供（ホームページに掲載）、関係団体との連絡調整

キ　貸出　軽スポーツ用具などを無料で貸し出します。

（ア）　健康マージャン道具

（イ）　ｅスポーツゲーム機材

（ウ）　軽スポーツ用具（スカイクロス、ペタンク）

（３）　元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業　〔予算額　１，１０２千円〕

元気な高齢者の社会参加及び地域の支えあい活動の担い手としての活躍を推進する一方で、要支援者の増加を抑制し、高齢者が元気でいつまでも社会との関わりを持つことができる、明るく活力のある長寿社会の実現を目指し、介護予防推進のボランティア活動等に役立つ実用的な講座を開催します。

ア　チェアヨガ講座

ヨガ初心者でも安全かつ効果的に行える椅子に座って行う「チェアヨガ」について学び、フレイル予防に役立てます。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

a　桐生会場（桐生市）、１１／２１（木）・２２（金）、美喜仁桐生文化会館

（イ）　定員　４０名

イ　ハンドケアセラピー講座

高齢者とのふれあいのきっかけづくりに最適なハンドケア（手、指先から肘までの手入れ）の手法とその効果を学ぶ。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

a　前橋会場(群馬県老人クラブ連合会)、９／１１(水)、群馬県社会福祉総合センター

（イ）　定員　５０名

（ウ）　その他　参加者は関係者となります。

ウ　タッピングタッチ講座

両手を使って肩や腰・頭などの部分を、左右交互のリズムでタッチしていくことで、不安や緊張などを和らげ、よりよいコミュニケーションが図れるようになる手法とその効果を習得します。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

ａ　高山会場（高山村社会福祉協議会）、６／１８（火）、いぶき会館

ｂ　みなかみ会場（みなかみ町社会福祉協議会）、６／２４（月）、みなかみ町保健福祉センター

（イ）　定員　各３０名

エ　若返りリトミック講座

音楽を楽しみながら心身の若返りと認知症予防を目的にしたメソッドを使いながら、「あたま」「こころ」「からだ」の３つの若返りの手法とその効果を習得します。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

ａ　渋川会場(渋川市社会福祉協議会)、７／２９（月）、渋川ほっとプラザ

ｂ　前橋会場(前橋市)、９／１０（火）・１１（水）、前橋市中央公民館

ｃ　邑楽会場（邑楽町）、１１／１３（水）、邑楽町中央公民館

ｄ　大泉会場（大泉町老人クラブ連絡協議会）、１１／２６（火）、文化むら

ｅ　大泉会場（大泉町地域包括支援センター）、１１／２７（水）、文化むら

（イ）　定員　３０名　※邑楽会場は１２０名

オ　子育て応援ボランティア講座（新規）

現代の子育て、関わり方と読み聞かせに関する座学や実習を行います。

（ア）　会場名（連携先）、開催日、場所

ａ　太田会場(太田市社会福祉協議会)、７／２３(火)・２６(金)、太田市福祉会館

ｂ　沼田会場(沼田市シルバー人材センター)、(未定)、沼田市シルバー人材センター

（イ）　定員　３０名

３　地域活動促進のための『組織づくり』

（１）　全国健康福祉祭選手派遣事業　〔予算額　４，９２９千円〕

シニア世代を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図りふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与するために開催される「第３６回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取２０２４）」に群馬県選手団を派遣します。

ア　開催期間　　１０／１９（土）～２２（火）　４日間

イ　場　　所　　鳥取県内各地

ウ　選 手 団　　８０人

エ　参加種目　　２８種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、ローイング、水泳、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、サッカー、ソフトバレーボール、ウォークラリー、太極拳、ターゲット・バードゴルフ、バウンドテニス、ダンススポーツ、サイクリング、バウンスボール、囲碁、将棋、民謡、健康マージャン、eスポーツ

（２）　**ぐんまねんりんピック２０２４開催**　〔予算額　３，０２８千円〕

スポーツや文化活動を通じて、シニア世代の健康の保持増進と交流、生きがいづくりを推進するため開催します。

ア　開 催 日　　１０／３１（木）

イ　場　　所　　ＡＬＳＯＫぐんま総合スポーツセンター他

ウ　参加者数　　２，０００人

エ　競技種目　　１７種目

ゲートボール、卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、剣道、弓道、グラウンド・ゴルフ、マラソン、水泳、ソフトバレーボール、ペタンク、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン

４　調査研究

（１）　**生きがいと健康づくり調査研究事業**　〔予算額　１２６千円〕

当財団の事業参加者を対象に、講座に参加したことでの自身の意識や行動の変化、講座で得た知識や経験の活用方法、財団に期待する内容等についてアンケートを行い、シニアの社会参加の実態とその効果をまとめ、公表します。

ア　調査時期　４月～８月

イ　調査対象　当財団事業参加者

ウ　調査方法　Google フォームによる Web 調査

エ　調査事項　講座に参加したことによる自身の意識や行動の変化、講座で得た知識や経験の活用方法、財団に期待する事業内容等

５　多様な雇用・就業機会の確保

（１）　シルバー人材センター連合会運営　〔総合計予算額　１，０２４，７６５千円〕

「自主・自立、共働・共助」を基本理念として、群馬労働局、群馬県並びに市町村と連携を密にして、県内各地において、シニアのための臨時的、短期的又は軽易な業務の就業機会の確保、提供を行っている市町村シルバー人材センターの取組を支援します。

・内　容　①　定期総会（６月）
②　連合幹事会　　２回（６月、２月）
③　事務局長会議　２回（６月、２月）
④　ブロック会議　中・北毛、東毛、西毛各１回（１月）
※その他必要に応じて臨時開催あり

ア　普及啓発事業　（予算額　４，１０８千円）

シルバー人材センター事業の理念・仕組み等を広く県民に周知するとともに、会員拡大と退会防止のための普及啓発事業を推進し、センター事業の活性化を図ります。

・内　容　①　「シルバーの日（１０月第３土曜日）」及び「普及啓発月間（１０月）」の事業推進
②　情報誌「ときめき群馬」等を活用したセンター事業紹介
③　各種イベント等でのシルバー人材センター事業紹介
④　リーフレット等普及啓発資料の作成、配布
⑤　県広報媒体、有料広告等による広報
⑥　ＳＮＳを活用したシルバー人材センター活動紹介（新規）

イ　安全・適正就業推進事業　（予算額　１，８２８千円）

シルバー人材センター事業の実施にあたっては、会員が高齢であることから、就業時の安全確保が重要となっています。特に事故が多発している作業について、安全就業対策の徹底と会員の安全・適正就業への再認識を図り事故防止につなげます。

・内　容　①　安全・適正就業委員会の開催　３回（６月、１０月、２月）
②　安全・適正就業担当者研修会の開催（安全大会時）
③　センターが実施する安全・適正就業講習会に対する助成
④　安全・適正就業の巡回訪問を実施（７月～１０月）
⑤　センターで実施する安全講習会への参加、指導
⑥　重篤事故の現地調査（原因分析、再発防止対策及びその水平展開）
⑦　安全・適正就業啓発資料の作成、配布
⑧　安全大会の開催（１１月）
⑨　安全就業優良センターの表彰（安全大会時）
⑩　事故防止啓発活動の実施（事故防止安全教育ＤＶＤ貸出及び視聴等）
⑪　蜂刺され重篤事故に対する再発防止策の継続推進
⑫　センターの会員が有料講習(刈払機又はチェーンソーに限る)を受講した場合、会員が負担した受講料の半額を助成。（ただし上限を１万円とし、同一年度内では同一会員１回まで）

ウ　就業開拓等事業　（予算額　２３７千円）

シルバー人材センター会員の経験、知識、技術、技能を活かせる仕事を確保、提供するため、シルバー人材センターが受注可能な仕事の開拓や新しい就業分野の開発・拡大を図ります。また、地域で活躍したいという意欲と能力のある高齢者に対し入会を促進し、会員拡大を図ります。

・内　容　①　就業開拓等委員会の開催　２回（６月、２月）
②　就業開拓及び適正就業推進巡回訪問の実施（７月～１月）
③　就業開拓等の推進
④　適正就業(法令遵守)の徹底
⑤　独自事業の推進
⑥　地域団体との連携

エ　交流研修事業　（予算額　１，８５６千円）

シルバー人材センター事業の円滑な運営及びセンター役職員の資質向上、活性化を図るため、各種研修を開催します。また、センターが会員を対象に実施する技能講習会に対して支援を行います。

・内　容　①　職員研修（８月）
②　役職員研修（９月）
③　シルバー人材センターが実施する技能講習会に対する助成

オ　指導相談事業　（予算額　１０千円）

シルバー人材センター事業の適切な運営を図るため、（公社）全国シルバー人材センター事業協会と連携してセンターに対し指導を実施するとともに、センターからの相談に随時対応します。

また、連合単独では対応が難しい、高度な相談に関しては専門職による相談機関を設け、市町村シルバー人材センターの事業活動を支援します。

・内　容　①　顧問弁護士による法律相談
②　顧問税理士による会計・経理相談

カ　シルバー人材センターへの交付金の支出　（予算額　１９９，０７５千円）

シルバー人材センターの安定的運営のため、国庫補助金をシルバー人材センターへ交付します。

キ　調査研究事業　（予算額　２９８千円）

シルバー人材センター事業を推進していくうえで有益な情報や資料等を収集・分析、先進地視察等を通じてシルバー人材センターとの情報の共有化を図ります。

ク　高齢者職業紹介事業　（予算額　４１千円）

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者の多様なニーズに応えるため、職業紹介事業を実施します。

ケ　センター設置促進　（予算額　　－　）

群馬労働局、群馬県及び関係町村と連携のもとシルバー人材センターの未設置地域の解消及び連合会への加入を目指します。

・未設置町村　　草津町、川場村

・連合会未加入　榛東村、上野村

コ　シルバー派遣事業運営　（予算額　８１７，３１２千円）

高齢者の就業機会の拡大につなげるため、従来からの請負や委任による働き方では対応できない業務など、多様な働き方が可能となる労働者派遣事業を更に推進します。

・内　容　①　シルバー派遣事業担当者研修（１０月）

②　教育訓練(随時)

③　シルバー派遣事業資料の作成･配布

④　シルバー派遣事業支援(４月～３月)

⑤　シルバー派遣事業推進検討会議（必要に応じて）

⑥　衛生管理者試験に係る試験手数料助成

⑦　「産業医」及び「衛生委員会」の導入に係るセンター支援（新規）

サ　「契約方法の見直し」に係る対応（新規）　（予算額　　－　）

「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）」が公布され、今年秋には施行が見込まれていることを見据え、業務処理のデジタル化についても避けて通れない課題となっていることから、会員のデジタルリテラシーの向上も含め県内シルバー人材センターが円滑に移行できるよう適切な対応を図ります。

（２）　高齢者活躍人材確保育成事業　〔予算額　２３，４６７千円〕

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野で担い手不足が問題となる中、働くことに必ずしも意欲的ではない高齢者や地域企業に対して、シルバー人材センター事業を積極的に周知・広報し、技能講習や就業体験を行うことで、新規会員の獲得、新たにシルバー人材センターを活用する地域企業の増加を目的に実施します。

さらに、現在シルバー人材センターの会員で、新たな分野での活躍を希望する会員、実際の就業に今一歩踏み出せない会員のためにも、技能講習や就業体験を実施し、人手不足分野等の担い手不足の解消を目指します。

・内　容　①　拠点センター及び関係機関と連携した取組の推進

②　シルバー人材センターに関する周知・広報活動の実施

③　技能講習及び就業体験の開催

④　高齢者活躍人材育成事業連絡会議の開催

⑤　周知・広報、技能講習、職場体験の実績管理及び実績報告